

- ◆企画名 ピア・サポート団体交流イベント（名城大学）  
 日程 2016年12月11日（日）  
 場所 名城大学天白キャンパス  
 参加者数 6名（ピア・サポーター3名、学生支援室TA1名、職員2名）  
 目的

名城大学において Active Conference～新入生支援改革～が開かれた。本企画は名城大学の主催で行われ、日本全国のピア・サポート活動を実施する、興味のある大学生が同大学に集まり（101名参加）、入学後の新入生を対象としたピア・サポートに関することについて意見交換した。

企画に参加することで新たなピア・サポートを模索するほか、他大学のピア・サポーターに関西大学のピア・サポート活動を発信する機会にもしたい。

### 内 容

#### 【全体会】

それぞれが新入生の時に困ったこと、悩んだことについて話し合うグループディスカッションを通じて、新入生支援企画を考えるうえでのウォーミングアップを行った。

#### 【グループワーク】

新入生支援に関することを3つのテーマに沿って話し合った。

（テーマ1）

各大学で行われている新入生支援企画を共有した。

（テーマ2）

テーマ1で共有した新入生支援企画の問題点、改善点について話し合った。

（テーマ3）

テーマ1、2で話し合った内容を参考に、新たな新入生支援企画を考え、企画書を作成した。

#### 【エンディング】

グループワークで話し合った新入生支援企画を発表し、よい企画だと思ったグループに投票し、優勝チームを決めた。

### 効 果

- ・新入生支援企画に関する情報収集ができた。
- ・他大学のピア・サポーターへ関西大学ピア・コミュニティの活動を紹介できた。
- ・大規模なイベント開催のノウハウの収集ができた。（駅からの案内員の配置、遠方から来た人のためのクロック対応、参加者に配付されたしおり等）

### 改 善 点

- ・今後活かせるような、大学の枠を超えたピア・サポーター同士のつながりをつくることはできなかった。
- ・交流イベントに参加した1、2回生（関西大学ピア・サポーター）の人数が少なかった。

### 感 想

グループワークで各大学のピア・サポート活動について共有し、その活動の問題点、改善点について話し合った。その際ピア・サポート活動の問題点、改善点はどの大学も似通っていると感じた。例えば、企画の集客率の悪さ、ピア・サポート団体の知名度の低さなどである。これらの問題点、改善点は関西大学ピア・コミュニティでも長年の懸案事項となっている事柄である。ピア・サポート活動に取り組む大学間で、成功、失敗事例やノウハウの共有ができれば、各大学のピア・サポート活動がさらによいものになるのではないかと考えさせられた。